

## 京都両洋高等学校吹奏楽部がリトミシ ェル混声合唱団とジョイントコンサ

京都両洋高等学校吹奏学部「HERZ」（ヘルツ）が、チェコ共和国（首都：プラハ）から来日したリトミシュル教育学学校混声合唱団「KOS」（コス）とのジョイントコンサートを11月19日に京都両洋高等学校第2体育館でおこないました。会場には、両洋高等学校に通う生徒をはじめ、市民ら300人が参加し、美しい演奏の音色と歌声に耳を傾けていました。また、チェコ共和国リトミシュル市のラドミル・カスパー市長、京都市の門川大作市長が会場を訪れ、両市との友好関係を深めていました。

チェコ共和国は、ドヴォルザークやスメタナなど著名な作曲家を世に送り出してきました。なかでもドヴォルザーク「交響曲第9番 新世界」、スメタナの「わが祖国 モルダウ」はみなさんも一度は聞いたことがあるのではないのでしょうか。しかも、スメタナはリトミシュル市に誕生しています。

リトミシュル教育学学校混声合唱団は、リトミシュル市にある教員養成専門学校に所属し、活動年数は50年を超えています。卒業生のなかにはミュージカルに出演するなど、名高い学校として知られており、「リトミシュルは才能の種が芽を出す苗床」と呼ばれています。

京都両洋高等学校吹奏学部は、葛城武周先生が顧問を就任して以来、全国大会コンクールに出場するなど、凄まじい発展を遂げています。また、「いつも心に太陽を 心のハーモニーを大切に 魂の音楽を届ける 人間力を高める努力を惜しまない」をモットーに、各所でコンサートをおこなうなど、その活動は注目されています。

ジョイントコンサートは、はじめにリトミシュル教育学学校混声合唱団「KOS」がミラン・モトルさんの指揮のもと「グロリア（賛美の歌）」「主の御名を讃えよ！」など歌声を披露しました。さらに、チェコの民族衣装に着替えて「チェルダーシュ（ハンガリー民族舞踊）」「農夫が粉挽き小屋に行くよ（チェコ民謡）」を軽快なリズムに合わせて民族舞踊のポルカを踊りました。

つづいて、京都両洋高等学校吹奏学部「HERZ」がバッハの「幻想曲とフーガ」、チェイスの「Get It On ～黒い炎」などを披露しました。

アンコールは、今年も日本各所で発生した自然災害からの復旧・復興を願って「花は咲く」を京都両洋高等学校吹奏学部の演奏にあわせて、全員で合唱しました。



門川大作市長がラドミル・カスパー市長と友好を深めあいました。



リトミシエル混声合唱団が美しい歌声で披露しました。



民族衣装に着替えて、ポルカを披露しました。



京都両洋高校吹奏楽部が演奏を披露しました。



アンコールでは会場が一体となって「花が咲く」を歌いました。